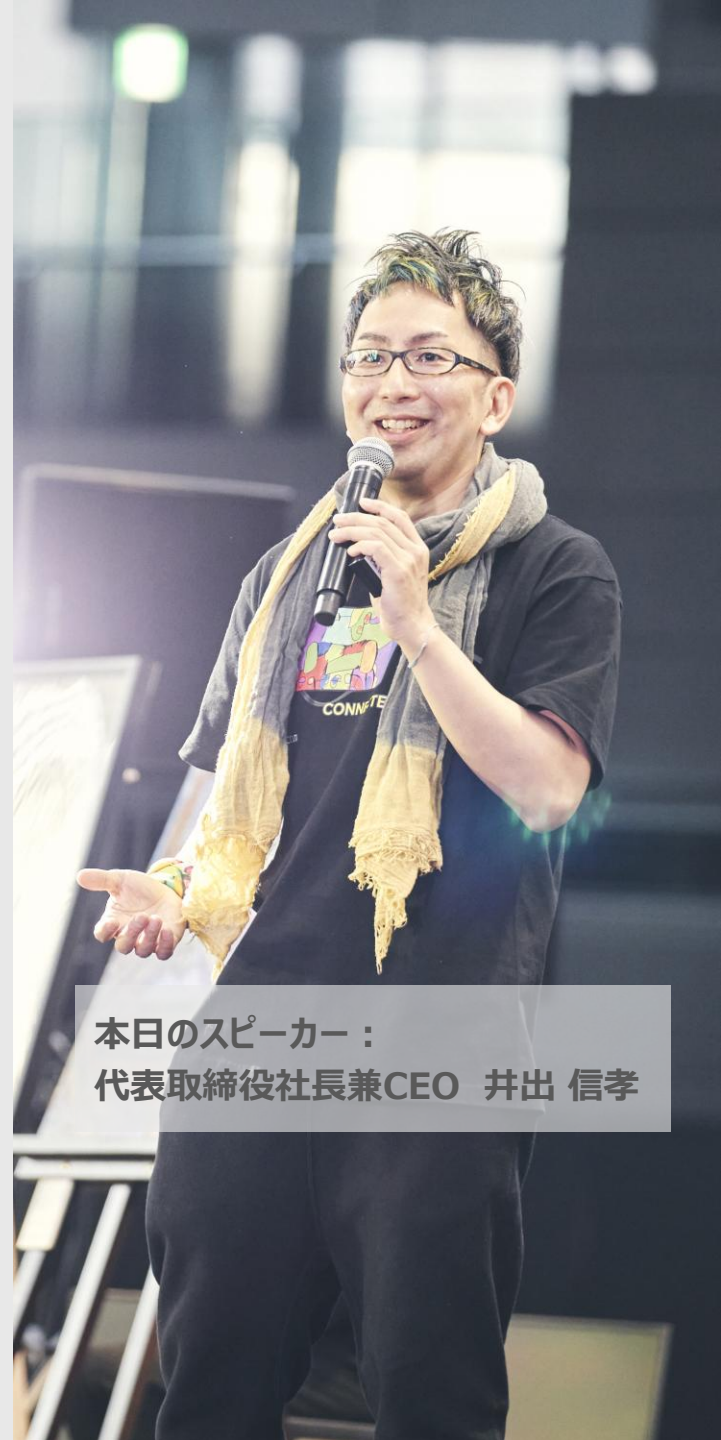


wacom®

2025年3月15日
個人投資家向け会社説明会

株式会社ワコム
(東証プライム 証券コード 6727)

本日のスピーカー：
代表取締役社長兼CEO 井出 信孝



創業から41年「デジタルで描く/書く」を追求

世界初の コードレスペンタブレットの誕生



フラッグシップモデル



wacom® Movink

ワコム 史上初の有機EL採用プロ向けディスプレイ製品



WHERE WORK



MEETS *FLOW*

クリエイティブの本質へ深く潜り込む

WACOM® Intuos Pro

ワコムの最先端テクノロジーを搭載して一新された
プロフェッショナルペンタブレットのフラッグシップ

「Life-long Ink」

ワコムがお客様に対し、インクを通じて【体験の旅】を届けるという“約束”
お客様と社会に対して、ワコムの技術に基づく「人間にとって意味ある体験」を
長い長い時間軸で、ご提供し続けていきます

※Life-long Inkはワコムの造語 Life-long = 生涯、一生

道典屋



株式会社ワコム（東証プライム：6727）

総資産	796億円	決算月	3月
純資産	360億円	発行済株式数	146,000,000株（2024年9月末）
自己資本比率	45.2%	時価総額	921億円（2024年3月12日時点）
売上高	1,188億円	研究開発費	77億円（売上高研究開発費比率6.5%）
営業利益	71億円	特許数	発明2,127件、意匠1,177件
当期利益	46億円	技術者割合	26%（グローバル 2023年3月時点）
設立	1983年7月	ROIC	13.9%
本社	埼玉県加須市豊野台2-510-1	ROE	11.9%
従業員数	1,066人(連結)	PBR	2.7倍

※記載があるものを除き2024年3月末時点

事業説明

～ワコムがお届けする「体験の旅」～

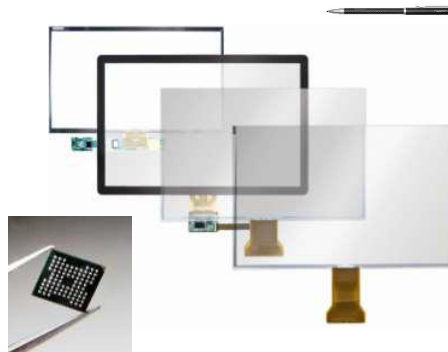
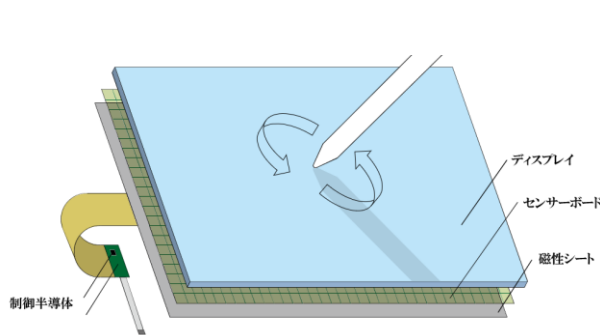
デジタルペンの技術

電磁誘導方式 (EMR)

- コードレス、電池不要
- 最大8,192レベルの筆圧検知能力
- 高い動特性
- 高い耐久性

アクティブ静電結合方式 (AES)

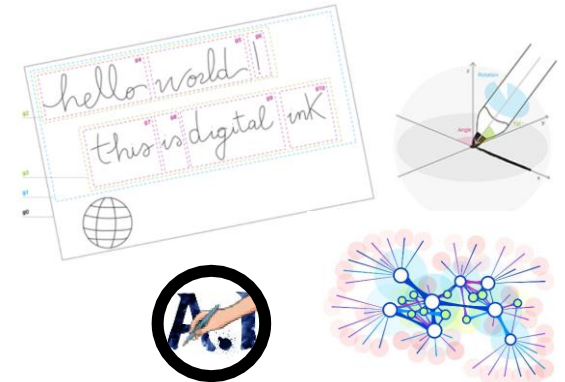
- タッチとペンのコントローラICを一体化
- タッチセンサーでペンも検出
- センサーボード不要で軽量
- システム本体の機構がシンプル
- ペンにバッテリーを内蔵



デジタルインクの技術

WILL™

- デバイス上で書いたインクデータをコンピューターのOSやデバイス、アプリケーションソフトなどの垣根を越えて自在に共有し、利用できるマルチプラットフォーム



3つの「体験の旅」をお届けする事業（2つの事業セグメント）

ブランド製品事業 （ハードウェア販売）

クリエイティブユーザー、法人向け自社ブランド製品や技術ソリューションの提供

製品ライン：
ペンタブレット/ディスプレイ/液晶サインタブレット等

テクノロジーソリューション事業 （OEMビジネス）

スマートフォン、タブレット、ノートPC等
OEMパートナー 向け技術ソリューション

製品ライン：
AES/EMR方式デジタルペン他の技術ソリューション

デジタルインク部門

デジタルインク技術および関連製品の開発、ソフトウェアソリューション提供



「道具屋」ワコムがプロデュースする“モノ”と“コト”

「筆が走る体験」をクリエイターに



ブランド製品事業 ～モノ～

ディスプレイ製品

液晶パネルがタブレット(画板)になったもので「液晶ペンタブレット(液タブ)」とも称される。ペンタブレットとPCが一体化したプロのクリエイター向けモバイル製品もこの分類に含める。

Wacom®
Cintiq Pro



Wacom® Movink



Wacom®
One



ペンタブレット製品

デジタルペン(筆)とタブレット(画版)により構成されるPC入力機器で「ペンタブ」とも称される。

Wacom®
Intuos Pro



Wacom®
One



「日常に溶け込む」 ペン



折り畳みにもスムーズに描けるワコムの技術





ウインドウズOS対応/
タブレット、ノートPC等

Lenovo



FUJITSU



dynabook



VAIO



アンドロイドOS対応/
スマートフォン、タブレット等

SAMSUNG
Galaxy

Z Fold6



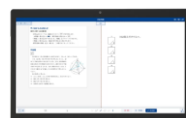
S25 Ultra



Tab S10



Z-KAI



PILOT



STAEDTLER



LAMY



Hi-uni
DIGITAL

Dr. GRIP DIGITAL

道具屋ワコムがプロデュースするモノとコト③

「道具体験」の先にあるもの



クリエイターの作品権利を保護するサービス

ベータ版の提供開始

Wacom Yuify
beta



一般教育向けタブレットにワコムの技術を搭載: Z会×ワコム ①



一般教育向けタブレットにワコムの技術を搭載: Z会×ワコム②

演習 植物の光合成・呼吸

メモ

検索

問題文

アサガオの葉の光合成のようすを調べるために、次のような実験を行いました。あとの問に答えなさい。

ふ入りの葉をつけたアサガオの鉢を一昼夜暗室に置いた後、図1のように葉の一部(すべて緑色の部分)をアルミニウムはくでおおい、日光の当たる場所に数時間置いた。

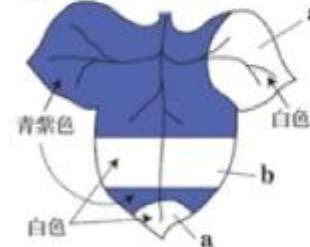
次にその葉をつみとって、アルミニウムはくをはずし、熱湯に約1分つけてから、さらにエタノールの入ったビーカーに入れ、そのビーカーを熱湯につけて約15分あたためた。

さらに、その葉をとり出して水ですすいだ後、ヨウ素液につけたところ図2のような結果となった。

図1



図2



設問

(1) アサガオを一昼夜暗室に置いてから実験を始めるのはなぜですか。簡単に書きな

戻る

× 中断

次へ

VR空間にも「描く/書く」を追求

wacom®
VR Pen



連結業績と株主還元

決算概況:2025年3月期第3四半期（2024年4月-12月）

- ・ 営業利益は、テクノロジーソリューション事業の増収、増益により順調に推移
- ・ 当期純利益は事業構造改革の実施に伴う特別損失（▲11億円）を計上しながらも増加

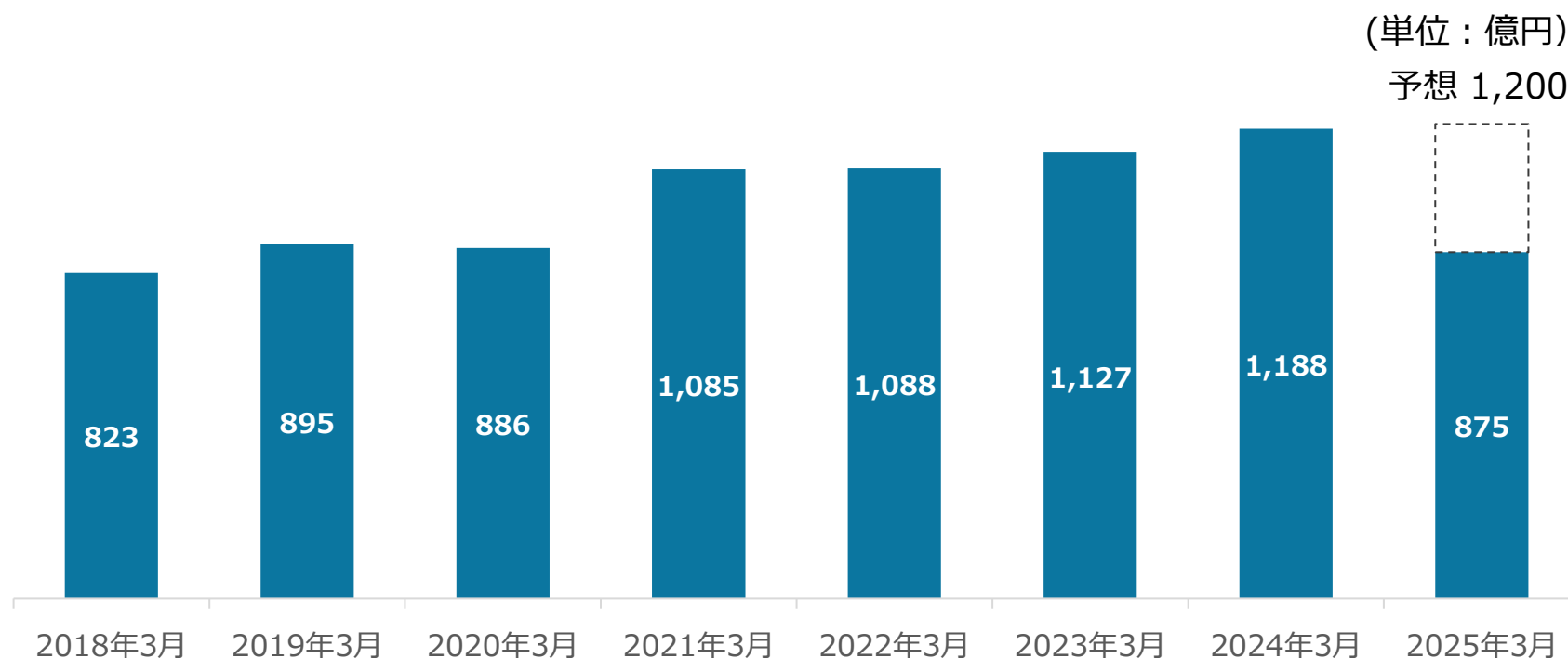
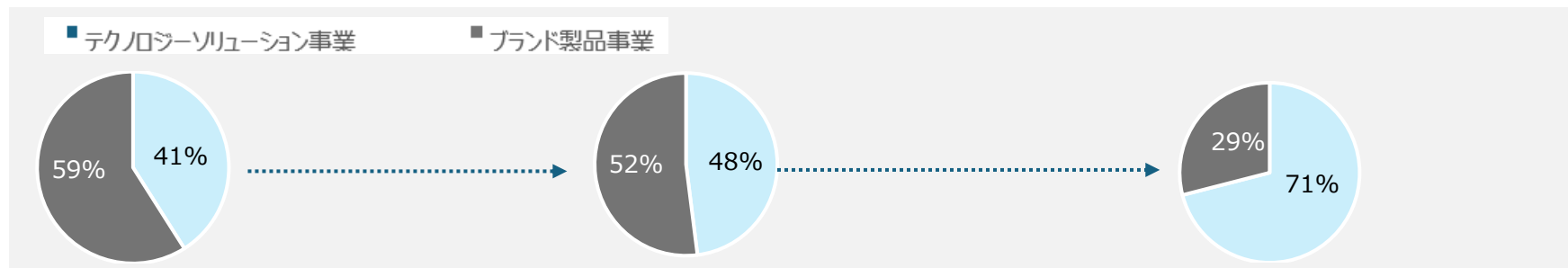
（単位：億円）

	41期	42期		42期通期予想	
	23年4-12月	24年4-12月	増減率	25年3月期	進捗率
売上高	892	875	▲2%	1,200	73%
（内）テクノロジーソリューション	619	643	4%	850	76%
（内）ブランド製品	272	232	▲15%	350	66%
営業利益	53	76	44%	85	89%
（内）テクノロジーソリューション	121	133	10%	160	83%
（内）ブランド製品	▲31	▲16	-	▲20	- %
（内）コーポレート調整額	▲37	▲40	-	▲55	- %
当期純利益	49	54	10%	62	87%

想定為替レート（1USドル=145円、1ユーロ=155円）

売上高の推移（2018年3月期～）

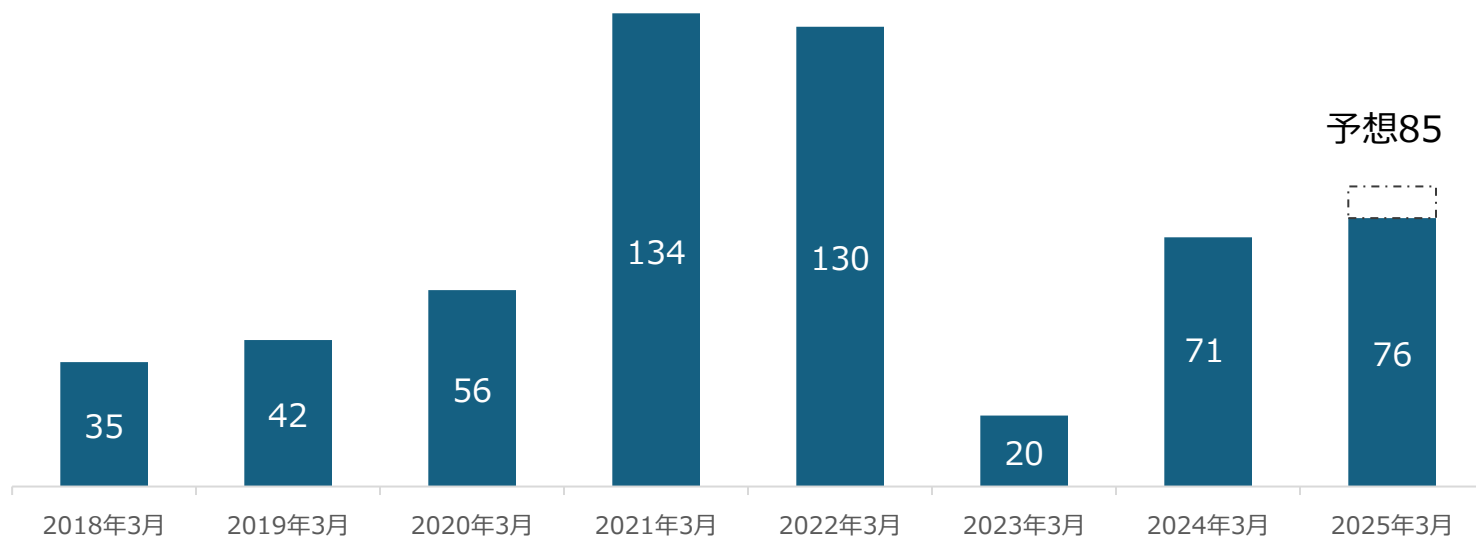
- 売上高は堅調に推移：2021年3月期以降4期連続で過去最高を更新
- 事業ポートフォリオの変化：テクノロジーソリューション71%、ブランド製品29%



営業利益の推移（2018年3月期～）

- ・ テクノロジーソリューション事業は、セグメント利益ベースで2018年3月期の約3倍に成長
- ・ ブランド製品事業は3期連続の赤字を見込んでおり、来期の黒字化に向けて構造改革を実施

（単位：億円）

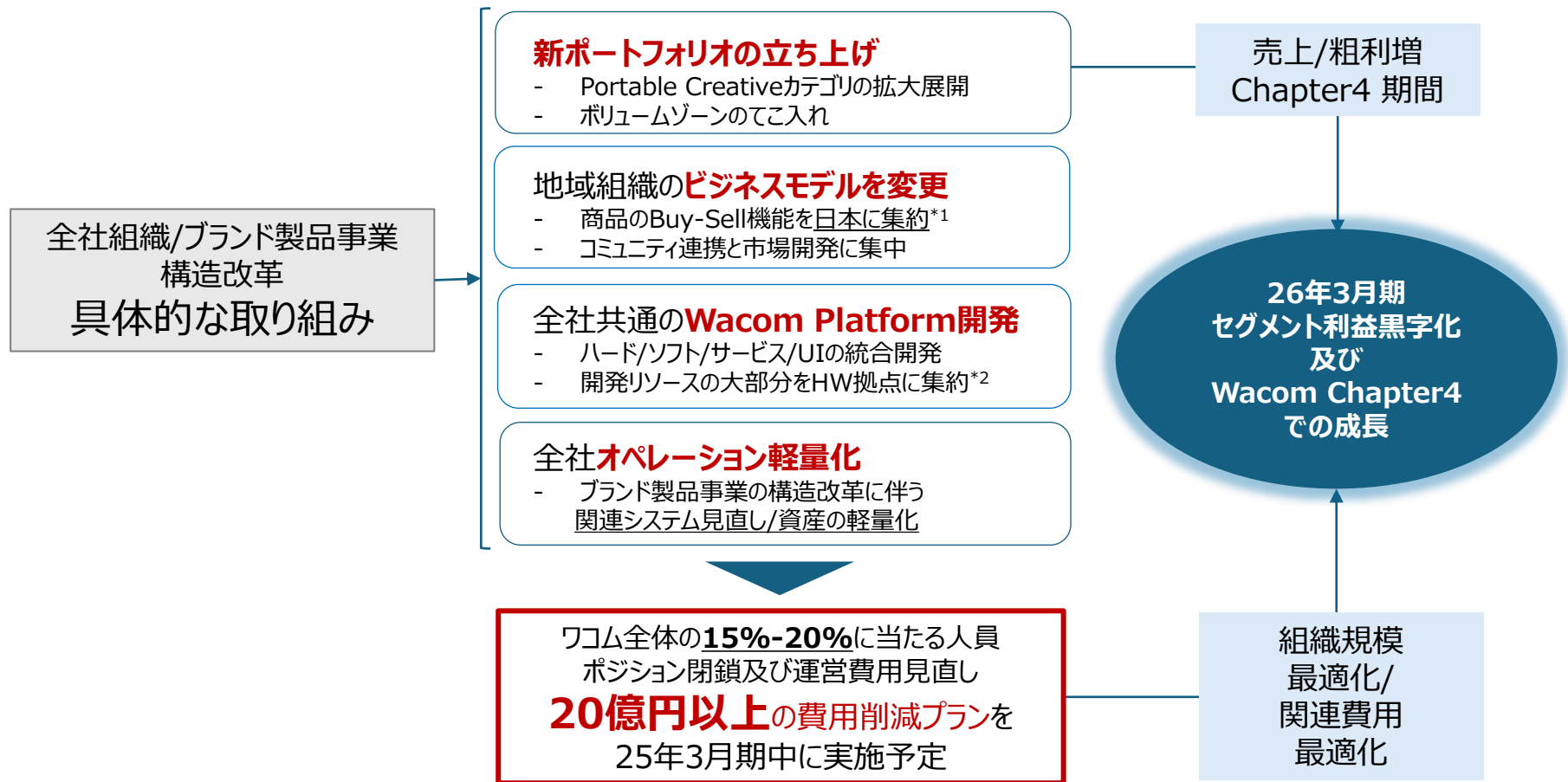


	2018年3月	2019年3月	2020年3月	2021年3月	2022年3月	2023年3月	2024年3月	2025年3月
テクノロジーソリューション	57	67	77	93	89	108	165	160
ブランド製品	65	18	17	91	87	▲40	▲45	▲20

(予想)

（注）営業利益は、各事業のセグメント利益の合計から管理部門等のコーポレート費用（調整額）が差引かれる

Wacom Chapter 4 に向かったの 全社組織及びブランド製品事業構造改革

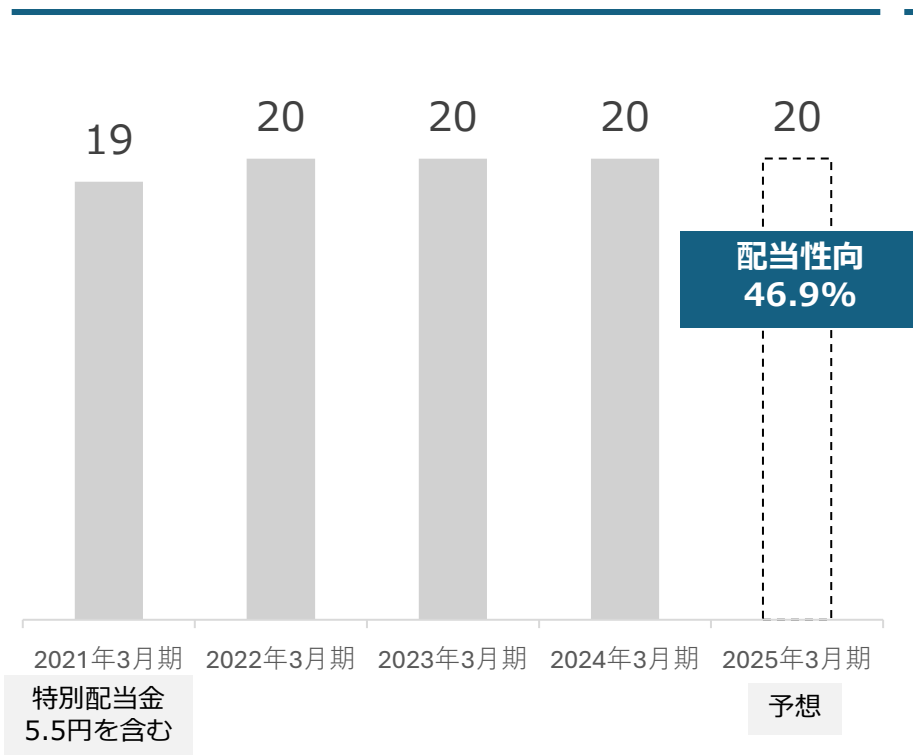


*1と*2: 一部除く

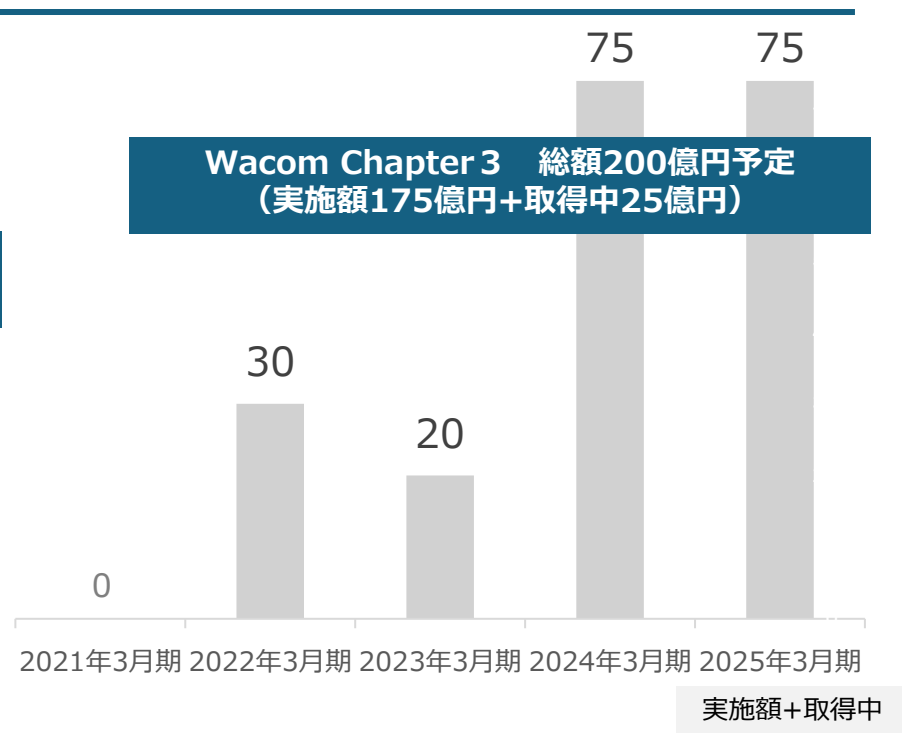
株主還元

基本方針:安定配当と機動的な自己株式の取得

1株当たり配当金（円）



自己株式の取得（億円）



中期経営方針

「Wacom Chapter 4」

具体的な方針/計画は今年5月に発表予定



「Wacom Chapter4」 提供価値の進化

- ペンとインクの“統合体験”を新しい価値として提供
- 成長に向けた積極投資（資本提携/技術獲得含む）を検討中

Chapter 3

ペン体験の各要素単体を提供



Chapter 4

「ペンとインクの統合体験」を提供



成長に向けた投資

① 株式会社Preferred Networks への出資（2024年12月）

AI 技術を活用したソリューション・製品や AI 半導体などを開発する
株式会社 Preferred Networks の第三者割当増資を引き受け（10億円）

人間の活動に寄り添う

「AI × ワコム」



出所：株式会社Preferred Networks社リリースより一部抜粋（2024年12月23日）
<https://www.preferred.jp/ja/news/pr20241223/>

② JENESIS株式会社への出資（2025年3月）

IoT デバイスの開発、製造、アプリ開発、運用、保守等のサービスを、IoT ソリューションとして提供
しているJenesisの株式を取得（2,000万円）

人間の活動に寄り添う

「IoT × ワコム」

ビジネスモデルの変化

- 従来のビジネスモデルに加え、リカーリングビジネスを通じた価値提供の質と幅を拡張する

既存のモデル

ハードウェア販売

- ワコムブランドの製品を販売
- 収益は製品価格や数量に依存
- 単発での売り切り型

OEMビジネス

- 他社ブランドの製品にデジタルペンや関連部品などを含むソリューションを提供
- ワコムの技術力を活かしたビジネス
- 収益は相手先企業の販売状況や戦略に依存



新たなモデル

リカーリングビジネス

- 定期的にサービスや製品を提供
- 継続的な収益を得るモデル
- 利用者数と収益が連動

市場ドメイン

- デジタルペンに関する事業機会は、持続的成長を遂げる市場ドメインに存在
(年次成長率二桁の市場)

デジタル
コンテンツ
制作/創作
市場

CAGR **16.3%**
(2024-30)
29.4 billion US\$
2023

Source : Grand View
Research
Global Digital Content
Creation Market Size

教育DX
Edtech
市場

CAGR **13.4%**
(2024-30)
142 billion US\$
2023

Source : Grand View
Research
Education Technology
(EdTech)

ワークフロー
DX
市場

CAGR **24.1%**
(2024-30)
595+ billion US\$
2023

Source : Marketsandmarkets
Digital Transformation Market



ゲームのキャラクターデザイン×液晶ペンタブレット

“ストリートファイター6” GOUKI





進むDXデジタルトランスフォーメーション

自治体窓口デジタル化、マイナンバーカード、サイン認証

国内事例

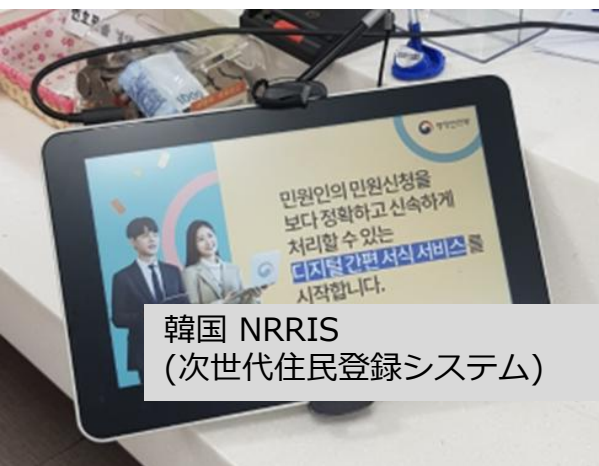


船橋市 市民生活局 戸籍住民課



川崎市 市民文化局 戸籍住民サービス課

海外事例



韓国 NRRIS
(次世代住民登録システム)



タイ 銀行金融取引
サイン認証システム



MAGYARORSZÁG
KORMÁNYA

ブタペスト市
デジタル市民情報システム サイン認証



B2B事例：病院でのworkflowサポート

Severance Hospital(韓国)/自治医科大学付属病院(日本)でのDisplayタブレット導入
電子カルテでのドローイング、同意書書類/サインの電子化

海外事例



SEVERANCE HOSPITAL



国内事例



自治医科大学付属病院

Jichi Medical University Hospital



ワコム大切な“コミュニティ”

「コネクテッド・インク」

コネクテッド・インクは、数多くのコミュニティやパートナー、プロダクト・ユーザー、そして世界中の多くの友人たちとの絆を深め、イベントでの出会いや発見を通して、それぞれにとっての新たな旅路/指針を見つける契機としていただくイベントです。8年前から開催し、毎年各地で開催しています。クリエイティブカオスの下でコミュニティと共に繰り広げられるワコムを象徴するイベントです。

今年は投資家の皆様にもお越しいただき、パートナーの皆様と共創する製品/サービスやテクノロジーを体感していただきました。



IRガイドツアー



製品体験会



鯉師会

コミュニティとの共創事例

「手書き × デジタルによる学びの体験」



企業活動を通じた サステナビリティ

～事例紹介～

環境（E）：製品の環境に配慮した取り組み



Wacom Cintiq Pro 27

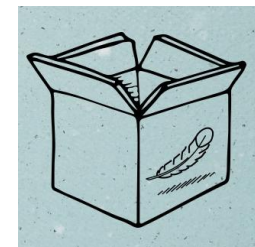
再生プラスチックの使用

プラスチックは石油由来ではなく、植物原料のものに置き換え。筐体等、主な樹脂部品に再生プラスチックを採用し、再生プラスチックの重量は総重量の59%。



製品の軽量化と包装の小型化

製品を前モデル比約20%小型化、軽量化を実現。限られた地球資源を有効に活用。それに伴いパッケージサイズを小型化し輸送効率改善（輸送に伴うCO2排出量削減）。



包装材の環境配慮

段ボールや取扱説明書にはFSC認証紙（国際的な認証制度）を使用。ペンやペンケースの包装には植物由来のポリ乳酸（PLA）※を使用。



※ポリ乳酸(PLA)は、トウモロコシやサトウキビなど植物由来のデンプンや糖を原料とするバイオマスプラスチックで、土中に廃棄された場合でも微生物の働きによって水と二酸化炭素に分解されると言われている。

CDPスコアの上昇 2024年度の気候変動の評価は「B」→「A-」

※ CDP=Carbon Disclosure Project

※ 「A」、「A-」～「D」、「D-」の4ランク8段階で評価

社会（S）：未来のクリエイターの育成をサポート



ワコムクリエイターズカレッジクラブ

Wacom
Creators College
Club



WCCC プログラムについて



学生・教職員
の方はこちら



教育機関の方は
こちら



加盟校一覧

topics 強化大作戦！foriioの活用とクリエイターとして生きる道

【 】 一覧を見る ▶

クリエイティブにチャレンジする
すべての学生・教職員をサポート

社会（S）：教育現場におけるDXをサポート～

未来デジタル人財育成の取り組みを後押し

文部科学省が2024年度より開始した「高等学校DX加速化推進事業（DXハイスクール）」において、DXハイスクールを利用してワコム製品を導入していただくなど、教育現場でのDXをサポートしています。

【導入事例】



北海道岩見沢緑陵高等学校 様



聖学院中学校・高等学校 様



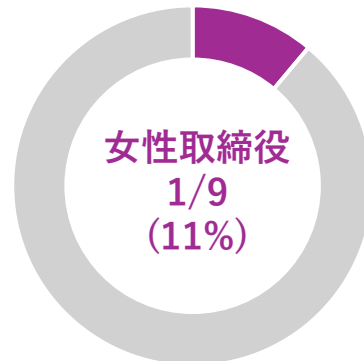
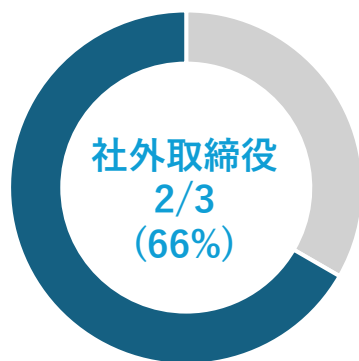
埼玉県立杉戸高等学校 様



出所：https://tablet.wacom.co.jp/enterprise_education/industries/dx-highschool/

ガバナンス（G）：高い独立性と実効性を有する取締役会

取締役会の構成



取締役会の特徴

- ①迅速な意思決定「スピード感」
- ②独立性と専門性の高さ
- ③フラットでオープンな取締役会

社内取締役



CEO



CTO（技術）



事業部門統括
（公認会計士）



企業経営者
（ECマース）



海外事業
（HR/企画）



企業経営者
（HR/ダイバーシティ）



企業経営者
（環境）



企業経営者
（投資家）



弁護士
（企業法務）

社外取締役

測定可能な評価軸だけではない
世界を目指して



MEANINGFUL GROWTH

【 Meaningful Growth(意味深い成長) 】という問いかけ



Contents



COVER PHOTO
Photographer: Sho Kato (@miesix)
Retoucher: Masaru Miyamoto (@pharobe)

- 04 ワコムが大切にしている「インク(Ink)」とは何か?
- 06 『今日だけは、ワコムのお話をさせてください』
from 井出信孝 代表取締役社長 兼 CEO
- 08 【体験の旅】を届けるという約束
- 20 ワコムが届ける【体験の旅】とは
ライフロンディング・インクの実現に向けて追求する3軸
- 24 ETCチームが実現する、これからの製品開発
「Wacom® Cintiq® Pro 27」開発の舞台裏
- 28 ワコム製品を操るクリエイターたち
- 34 「新しいエコ・システム」の青写真
- 36 革新的協業の軌跡
新製品の共同開発を行うレノボ、サムスン
- 38 未来へ向けたコラボレーション
Z会、パイロット、mui Labとワコムの取り組み
- 40 いつでもどこでもワコムがサポート
世界各地の日常に新たな【デジタルペン体験】を届ける試み
- 42 「世界は、まだまだ可能性に満ちている」
ビジネスソリューションの発想力
- 46 仲間と呼べるような「親しみ」を感じるテクノロジーを求めて
ハードウェア会社から【体験の旅】を届ける存在へと進化を続けるワコム
- 48 デジタルインクが紡ぎ出す新たな可能性: 「IKISEKI ART」 「Wacom Yuify」
- 50 未来の体験価値は技術革新から生まれ出る
ワコムの機軸を担う開発リードが対談
- 54 世界を知る投資家・阿部修平は、なぜワコムに熱視線を注ぐのか
- 60 ワコムを取り巻くコミュニティ
多彩なパートナーと共創する未来
- 68 コネクテッド・インクは「クリエイティビティのおもちや箱」だ
- 70 ワコムの社会への取り組み
【心の灯り】を大切にしているワコム
- 72 ワコムの環境サステナビリティ
「テクノロジー・リーダーシップ・カンパニー」として推進する環境への取り組み
- 76 TCFD提言に基づく情報開示
- 78 ワコムグループのガバナンス
グローバルに活動するワコムグループのガバナンスについて
- 82 会社概要
- 83 価値創造を実現する6つの資本
- 84 ワコムの歩み
1983年の創業から現在までのワコムの軌跡
- 86 【Meaningful Growth】という問いかけ
測定可能な評価軸だけではない世界を目指して
- 88 Work of Art: 「創作2023」 by Bunta
- 90 感謝の手紙
- 91 編集後記

こちらからご覧いただけます。



[https://investors.wacom.com/
ja-jp/wacom-story-book/](https://investors.wacom.com/ja-jp/wacom-story-book/)

ワコムの数字をご覧になりたい方へ

決算説明会動画

<https://www.youtube.com/watch?v=8wTR8IEJ-q8>



決算説明会資料

<https://contents.xj-storage.jp/xcontents/AS95168/ff9242d0/8d8d/47d3/b20e/f0ba6b397564/20250131153312512s.pdf>



決算短信

<https://contents.xj-storage.jp/xcontents/AS95168/dda5c54e/7e08/4c09/bf4a/d975317b9291/140120241219541422.pdf>



Financial Data 2024

<https://contents.xj-storage.jp/xcontents/AS95168/cb4411bb/7956/4bc7/abad/e8d068139528/20240830104729749s.pdf>



FISCO企業調査レポート

https://investors.wacom.com/wp/wp-content/uploads/2024/12/241206_fisco_j.pdf

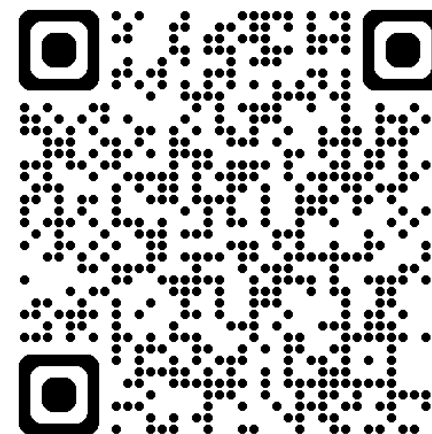


アストリス・アドバイザリー・ジャパン調査レポート

<https://investors.wacom.com/wp/wp-content/uploads/2025/02/WACOM-02102025-JPN.pdf>



ワコム
IRメルマガの
ご登録は
こちらから→



本資料のお取り扱い上の注意点

- 本資料に含まれる将来の見通しに関する記述は、現時点における情報に基づき判断したものであり、マクロ経済や当社の関連する業界動向、新たな技術の進展などにより変動する事があります。
- 従いまして、実際の業績などが本資料に記載されている将来の見通しに関する記述と異なるリスクや不確実性がありますことをご了承ください。会社名、製品名など固有名詞は各所有者の商標あるいは登録商標です。

株式会社ワコム
インベスター・リレーションズ
〒160-6131 東京都新宿区西新宿8丁目17番1号
住友不動産新宿グランドタワー31階
ホームページ <https://www.wacom.com/ja-jp>
IRサイト <https://investors.wacom.com/ja-jp/>